

夢が無限に広がる新造形素材「LaQ」を開発・展開

ヨシリツ株式会社 奈良県吉野郡大淀町

ヨシリツ株式会社は、従来のプラスチック製組み立てブロックとは全く違う発想で開発した知的玩具「^{ラキユー}LaQ」などの製造販売を行っているアイデア商品メーカーである。

LaQは、考え抜かれた9種類のパーツをつなぎ合わせるにより球体や曲面も表現可能で、アイデア次第でどんな立体も創作できる、無限の可能性を秘めた組み立てブロックである。大手書店を中心に全国1千店余りで販売されており、同社の成長を支えている。

会社概要



会社名：ヨシリツ株式会社
所在地：奈良県吉野郡大淀町
越部 1563

電話：0747-52-2369
FAX：0747-52-6656
設立：昭和58年10月
代表者：代表取締役 吉條 宏
資本金：1,000万円
従業員：18名
事業内容：パズルブロック、樹脂製雑貨等の製造販売
URL：<http://www.yoshiritsu.com/>

新造形素材「LaQ」を開発し、成長

ヨシリツ株式会社は、ワンタッチアイデア栓抜き「セントル」や、従来の組み立てブロックの常識を打ち破った、子供から大人まで楽しめる優れた知的玩具「^{ラキユー}LaQ」などの製造販売を行っているアイデア商品メーカーである。

LaQは、プラスチック製のブロックで、平面から曲面、球状など複雑な形状を作り出すことができる。吉條社長が、ある時ひらめいたアイデアを15年の歳月をかけて開発したものである。デンマークの有名なブロック玩具「レゴ」の模倣品が多数ある中、LaQは平面を立体にするという、レゴとは全く違う発想で開発されている。日本を含め世界9か国で特許を取得している。

これまで、NPO法人日本グッド・トイ委員会が認定する1996年度「グッド・トイ100選」に選定されたり、大阪デザインセンターの「住・生活環境デザイン部門 中小企業優秀賞」を受賞したりするなど、外部の評価やユーザーからの評判も高く、同社の現在の成長を支えている。

シンプルなおパーツから夢が無限に広がる

LaQは、普通のブロックでは困難な、球体や曲面も表現可能で、鉛筆立てなどの実用品から小鳥や乗り物などアート感覚のオブジェまで、アイデア次第でどんな立体も創作できる、無限の可能性を秘めたブロックである。その秘密は、考え抜かれた9種類のパーツにある。

基本パーツは、正方形（1辺17mm、厚さ3mm）と正三角形（1辺16mm、厚さ同）の2種類。これらをつなぐジョイントパーツは、水平（2種類）、120度の角度、垂直、3方向の5種類からなる。7種類のパーツは、赤、黄、緑、青、白、黒の6色からなり、カラフルな色彩の作品づくりが可能になっている。



「LaQ」と
「セントル」



【基本パーツ】



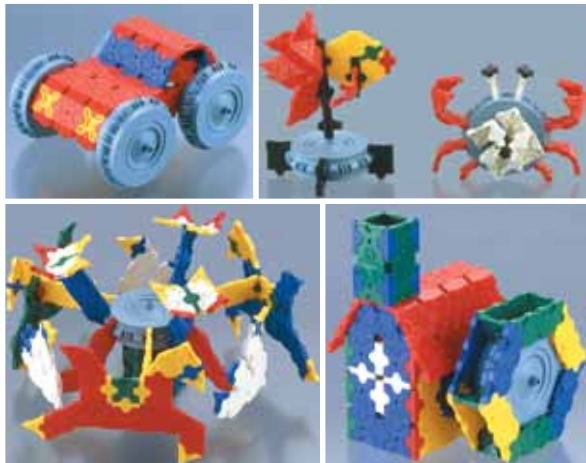
【ハマクロンパーツ】



【ジョイントパーツ】



更に、車輪になったり、放射状にパーツをつなぐジョイントになったりするハマクロンパーツ〔W（ホイール）とS（シャフト）の2種類〕を使うと、ヘリコプターやスポーツカー、メリーゴーランドなど、動くLaQ作品を作ることができる。



LaQで作られた色々な作品

LaQ遊びの効能

- ・創造性や表現力、集中力、色彩感覚が身につく。
- ・立体や多面体などの幾何学図形を作ることで、数学的思考や論理的思考の発達に役立つ。
- ・親子で楽しみ、コミュニケーションが図れる。
- ・パチパチと心地よい使用感があり、手と脳の活性化を促し、病後や活動性の低いお年寄りの方にも格好のリハビリ道具となりうる。

書店の販路開拓が売上増に大きく貢献

現在、人気商品となっているLaQであるが、「LaQは、今の形になるまで何回も試作を繰り返しましたが、その商品開発以上に、販路開拓には苦労しました」と吉條社長が語るように、その認知度向上や売場確保には隠れた努力があった。

発売当初は百貨店等の玩具売場で販売したが、

有効な陳列スペースの確保が難しく、採算的にも厳しかった。そこで、吉條社長は理容店やガソリンスタンドなど、販売チャネルの開拓に努め、そのなかで感触の良かった書店での販売に注力していった。LaQは児童書などの売場で陳列されており、書店側にとっても賑やかさの演出につながるなど、有力な販売チャネルに成長している。今では、大手書店を中心に全国1千店余りで販売されている。

ユーザー志向の商品展開とマーケティング

同社では、ユーザーからの声を吸い上げ、商品開発に活かすとともに、同社のWebサイトを通して、各種情報提供やファン同士のコミュニケーションの場を提供している。

品揃えでは、LaQが気軽に体験できる「トライシリーズ」の60ピースから、特製コンテナにたっぷりのパーツが入っている「エキスパートシリーズ」の5000ピースまでバラエティーに富んでいる。特にエキスパートシリーズは、保育園、幼稚園、医療施設などでも利用されているという。

Webサイトの「LaQ Gallery」では様々な作品の作り方を紹介している。また「LaQ芸術祭」では、ファンから応募作品のうち、毎月若干点数の作品を入選作品として選定・公開。1年間を1タームとして、入選作品の中から年間グランドチャンピオン1名（賞金10万円）と年間チャンピオン5名（賞金1万円）を選定している。同コーナーは、良い作品を作りたい、人に見てもらいたいという、ファン同士が刺激しあう場にもなっている。

同社は、今年の春から4色の中間色を加えた商品の販売を予定している。吉條社長は、「モノづくりは、小さいことの積み上げです。繰り返すことが大切。これからも時代の感覚にあった商品を作っていきたい」と、新商品の開発を計画している。アイデアマンであり、努力家でもある吉條社長の夢の実現に期待したい。（島田、井阪）